博物館で音楽を

東京国立博物館
クラリネットコンサート 2025

Tokyo Clarinet Choir

指揮とお話　稲垣征夫

演奏　東京クラリネット・クワイアー

アルルの女 第2組曲より メヌエット、ファランドール
G.ビゼー作曲/稲垣征夫編曲

ワルツ「皇帝円舞曲」op.437
J.シュトラウスII作曲/稲垣征夫編曲　ほか

稲垣征夫 *Ikuo Inagaki*

東京生まれ。国立音楽大学器楽科卒業。クラリネットを大橋幸夫，千葉国夫、北爪利世、小笠原長孝の各氏に、指揮法を金子登氏に師事。クラリネットの演奏を始め、指揮・講演・評論などの活動を1960年代より始め、現在でも多岐にわたる分野で活躍中。
クラリネット奏者としては管楽座（木管五重奏団）のメンバーとしてのアンサンブルやソロ活動を行っており、これまでに4枚のCDをウィーンで製作しリリースしている。指揮者としては長野市民吹奏楽団、NEC玉川吹奏楽団、東京クラリネット・クワイアーの音楽監督、常任指揮者を務める。長野市民吹奏楽団（4回）と東京クラリネット・クワイアー（8回）を率いてのウィーン公演が好評を博し、ウィーン・コンツェルトハウスから厚い信頼を得ている。
2002年永年のアンサンブルの普及活動に貢献したとして日本クラリネット協会賞を受賞。ミュージック・ペンクラブ・ジャパン会員、全国職場バンド実行委員会特別顧問、2019年度日本管打・吹奏楽アカデミー賞「演奏部門賞」受賞。2022年1月長野県県民文化部より芸術文化分野の功労者として表彰。

東京クラリネット・クワイアー
Tokyo Clarinet Choir

アマチュアによるクラリネットオーケストラ。稲垣征夫氏の提唱により、同氏を主宰・指揮者として1986年に結成。団員の経歴・職種は多様で、一般社会人・大学生・音楽大学卒業生など現在40名ほどの団員を有する。E♭クラリネットからB♭コントラバスクラリネットの様々なクラリネットのみで構成されており、ピアノ小品から交響曲まで幅広いレパートリーをもつのが特色。36回を数える定期演奏会をはじめ「TCC PRESENTS」と称したミニコンサートやアンサンブルコンサートを中心に活動。2020年2月に8度目のウィーン公演を成功させたほか、これまでにベルギー、日本各地で演奏会を行っている。2026年3月には9度目のウィーン公演を予定している。

10月13日（月・祝）

1回目13:00～
2回目15:00～
※各回40分程度、曲目はそれぞれ異なります。

東京国立博物館
平成館ラウンジ

鑑賞無料　事前予約不要
どなたでもご自由にお聞きいただけます
※ただし当日の入館料が必要です。
※鑑賞者多数の際はご鑑賞いただけない場合がございます。

主　催　東京国立博物館/東京クラリネット・クワイアー
協　賛　一般財団法人東京国立博物館協力会
お問合せ　東京国立博物館　総務課　渉外開発担当
TEL03-3822-1111（代表）
※月～金曜日の9:30～17:00（祝休日は除く）